



学校だより

令和6年1月31日
横浜市立上白根小学校
【2月号】



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



目標に向かって

副校長 内 和俊

ニュースなどで話題になっている、メジャーリーガー大谷翔平選手が寄贈した野球グローブが本校にも届きました。ニュースでは大谷選手の地元など、早い学校は12月に届いている報道があったので、本校でも子どもたちは「いつ届くの?」「うちの学校にも届く?」と聞いてくるほど、いまかいまかと待っていました。本校では25日の昼休みに届きましたので、早速26日の中休みに子どもたちにお披露目し、グローブを使ってボールをキャッチする体験会を行いました。大盛況でみんなとてもうれしそうな様子でした。



さて、大谷選手といえば、高校生の時に将来の夢をかなえるために、自分の目標とそのための具体的な行動についてマンドラチャートという目標達成シートを作成したことが知られています。このマンドラチャートは、自分がすべきことを可視化するツールです。人間はどうしても強く思っても忘れてたり、気持ちが薄れて長続きしなかったりすることがあります。これを可視化して自分がすべきことがはっきりすれば、目標を達成しやすくなります。大谷選手が書いた目標は「ドラフト1位で8球団から指名される」こと。そのために取り組むことを8つ書くのですが、「体づくり」「コントロール」「変化球」に取り組んでいくのはわかります。驚いたのは目標をかなえるための8つの取り組みの内3つが「人間性」や「運」といった野球以外の項目だということです。「人間性」の項目には、さらに具体的に「愛される人間、思いやり、礼儀、感謝、完成、計画性、継続力、信頼される人間」、「運」の項目には「あいさつ、ごみ拾い、部屋掃除、道具を大切に、審判への態度、プラス思考、応援される人間になる、本を読む」とあります。小学生の子どもたちにもできそうなことや大切なことがたくさん入っています。そこからは自分の目標をかなえるには技術だけでなく内面も大事だと読み取れます。事実、大谷選手のフェアプレー精神、グラウンドのごみを拾うなどの行動は知られており、今でもこの取組が継続され、みんなに応援される選手になっているところが、すごいところです。

そんな大谷選手から贈られたグローブは、他のグローブにはないものがあると思います。ぜひ、子どもたちにたくさん触ってもらい、それぞれの将来の夢について想像を膨らませたり、自分の目標に向かって何かを始めてみたりしてほしいと思います。

